

木質バイオマス温水ボイラー

ドイツNolting社製

(ドイツDENA*の認定製品)

効率90%・完全自動・70年を越える製造実績
全世界2万台普及実績・全機種オーダーメイド
国内での組立・製造・販売のライセンス取得

*DENA : ドイツエネルギーエージェンシーとは、ドイツの優れた製品を認定する政府機関。

- 少ない燃料で効率良く！
(含水率30%の燃料で効率90%)
- チップ、ペレットの両方に対応
- メンテナンス簡単で長持ち
- 完全自動制御で運転
- 暖房・給湯や産業に利用
(農業ハウスの加温や工場の熱供給)
- 吸収式冷温水機で夏の冷房用



Noltingボイラーの種類

チップボイラー



薪ボイラー



吸収式冷温水機 (オプション)



夏に、温水を冷水に変換し冷房に使えます

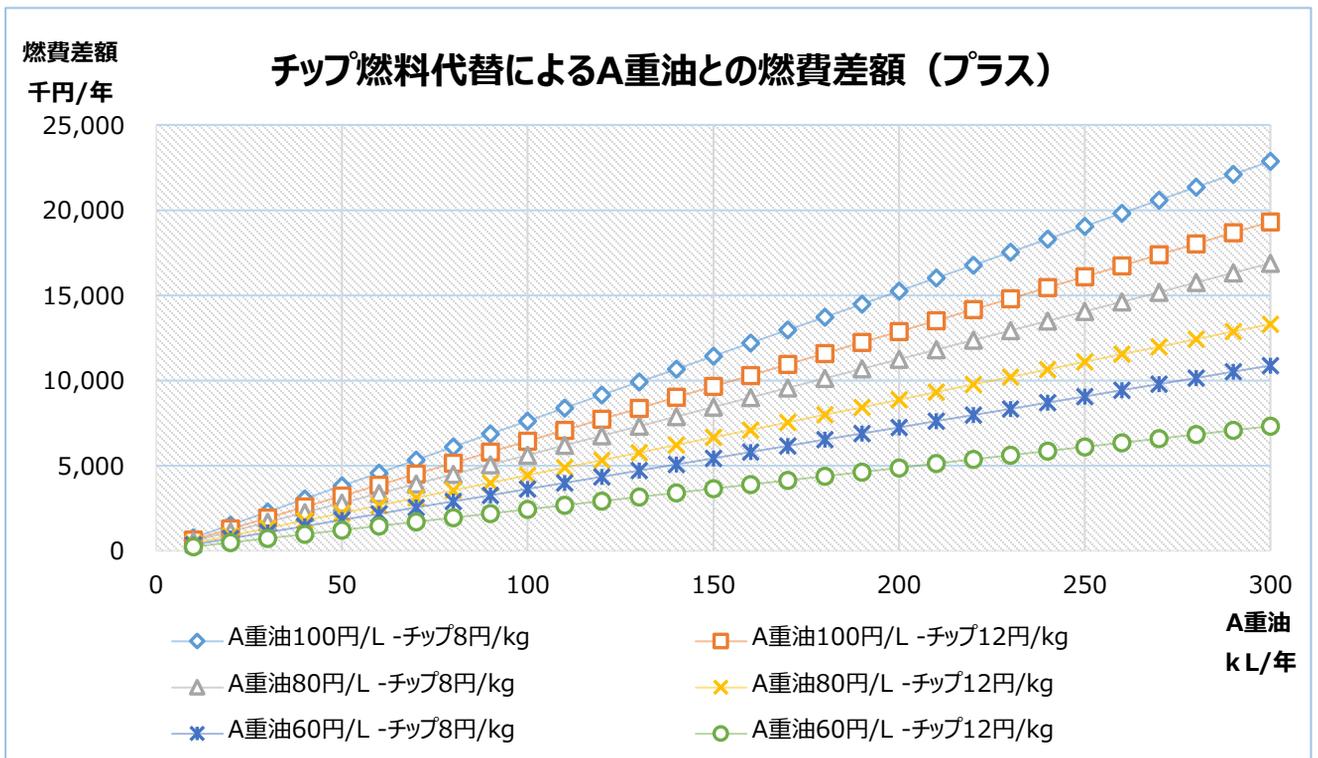
木質オマスボイラーの経済性

温泉ホテル 木質バイオマスボイラー導入シミュレーション	
導入事業費	千円 201,000
補助金 (補助率1/2)	73,000
自己負担	128,000

A重油ボイラー + 冷房電力			
燃料	年間使用量 (L、kWh)	単価 (円/L、kWh)	金額 (千円)
A重油	約300,000	90	27,000
冷房電力	約135,000	20	2,700
合計			29,700



木質バイオマスボイラー + 吸収式冷凍機 (木質チップ) へ転換			
燃料	年間使用量 (t)	単価 (円/kg)	金額 (千円)
チップ燃料	約1,180	8	9,400
保守管理・メンテナンス・ 修繕費			3,300
合計			12,700
ランニングコスト削減額			▲17,000
20年累計			▲340,000



地域内経済循環

現在私たちが使っている燃料は石油ですが、木質バイオマスに換えることで、経済的メリットの他、二酸化炭素（CO₂）排出量の削減効果が生まれます。

二酸化炭素排出量の削減

木は成長過程でCO₂を吸収し、炭素（C）として取り込みます。木が燃えて発生するCO₂は、大気中から固定していた炭素を再び放出するものであり、燃やした分の樹木を育てることにより、大気中のCO₂を増やさずに済みます。これを「カーボンニュートラル」といいます。

Noltingボイラーの設置例

普及実績

道内：15基（チップ・パレット12基、薪3基）

道外：4基（チップ3基、薪1基）

内、温泉施設：12ヶ所

田園プラザホテル（川場村）
LCS 260kW チップ



豊栄荘（箱根）
LCS 450kW
チップ



天塩川温泉
（音威子府村）
LCS-RV 350kW
チップ



ホテルめぐま
（稚内市）
LCS-RV 350kW
チップ



湯の沢温泉
（占冠村）
UV-200 200kW 薪



輸入元

株式会社NERC

（自然エネルギー研究センター）

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西16丁目
第一ビル F9



販売元

KEDI 株式会社 国洋環境開発研究所

〒378-0102 群馬県利根郡川場村川場湯原2058-1

TEL:0278-25-8466 FAX:0278-25-8446

E-mail:info@cubic-house.jp

http://www.cubic-house.jp